

WORDPRESS 永久集客機関設置講座 ～プラグイン編～

◆著作権について

○本教材は、著作権法で保護されている著作物です。

本教材の使用に関しては、以下の点にご注意ください。

○著作権者の許可を得ず、マニュアルの一部または全てをあらゆるデータ蓄積手段

(印刷物、CD、DVD、ビデオ、テープレコーダおよび電子メディア、インターネット等)により複製および転載することを一切禁じます。

○使用許諾に関する注意事項

・第一条

本教材は直接購入していただいた方のみ使用を許可されています

(再配布はできません)

・第二条

本教材に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。

作者の許可を得ず出版および電子メディアによる一般公開や転売はできません。

・第三条

あなたがこの契約に違反した場合、作者は何の通達もなく、この使用許諾契約を解除できるものとします

・第四条

あなたが本契約の第二条に違反した場合、あなたの本契約の解除、
そして作者に対して法律に定められた違反金を支払っていただくこ
とになります。

目次

- [3つのインストール方法](#)
- [Askimet&WP Multibyte Putch](#)
- [site kit by google](#)
- [TinyMCE Advanced](#)
- [Google XML Sitemaps](#)
- [Simple Tags](#)
- [BackWPup](#)
- [【補足】UpdraftPlus](#)
- [EWWW image Optimizer](#)
- [あると便利なプラグイン](#)
 - [Yet Another Related Posts Plugin \(YARPP\)](#)
 - [WordPress Popular Posts](#)
 - [Category Order and Taxonomy Terms Order](#)
 - [Table of contents plus](#)
 - [Fancier author box&WP User Avatar](#)

3つのインストール方法

プラグインのインストール方法には、大きく分けて3つのインストール方法があります。

1. WordPress 内の公式プラグインを検索する
2. WordPress のアップロード機能を使ってインストールする
3. FTP ソフトを使ってアップロードし、インストールする

基本的にはこの3種類の方法を使ってプラグインをインストールしていくのですが、主に使うのは1と2の方法になります。また、中にはもともとワードプレスにインストールされているものもあります。

本書では、最低限入れておかなければならないプラグインのインストール方法について解説していきますので、あなたも手を動かしながら実際にどうやってプラグインをインストールするのかを掴んで行ってもらえたらなと思います。

ちなみにこの教材でインストールを推奨しているプラグインは以下の通りです。

- Akismet
- WP Multibyte Patch
- Site Kit by Google
- Tiny MCE Advanced
- Google XML Sitemaps
- Simple Tags
- Back WP up
- EWWW image Optimizer

それでは、1つずつ解説していきますね。

Akismet & WP Multibyte Putch

WordPress にはもともと最初からいくつかのプラグインがインストールされています。それらは最初「停止中」になっているので、「有効化」していかなければなりません。

で、その中でも必ず有効化しておいて欲しいプラグインが、

- Akismet
- WP Multibyte Putch

の2つです。

では、どのように有効化すればいいのか見て行きましょう。

まずは管理画面にログインしてもらって、左側のサイドメニューから「プラグイン」を選択してください。



すると、プラグイン一覧の画面が出てくるとと思います。その中に Akismet と WP Multibyte Patch が表示されていますので、次の図のように「有効化」をクリックします。



これで「有効化」は完了です。次は Akismet の設定に入って行きましょう。

それでもそもそも「Akismet」って何かって話ですが、これはスパムコメントからブログを守ってくれるプラグインになります。

海外からツールを使って手当たり次第にコメントを書き込んでサイトを重くする攻撃を受けることがあって、ひどいときには5分おきに毎日コメントがついたりします。

(一度それで全てのコメントを削除するのに非常に手間取ったことがあります。)

なので、そういったスパムコメント対策として Akismet の設定を必ずしておきましょう。

Akismet を有効化した際、図のように大きく帯が表示されると思います。赤い枠で囲った青いボタンをクリックしましょう。



すると、画面が切り替わるので、図を参考にクリックしてください。

あなたのサイトからスパムを一掃

次のオプションからひとつを選択して始めましょう。

Akismet を有効化

ログインまたは今すぐ登録しましょう。

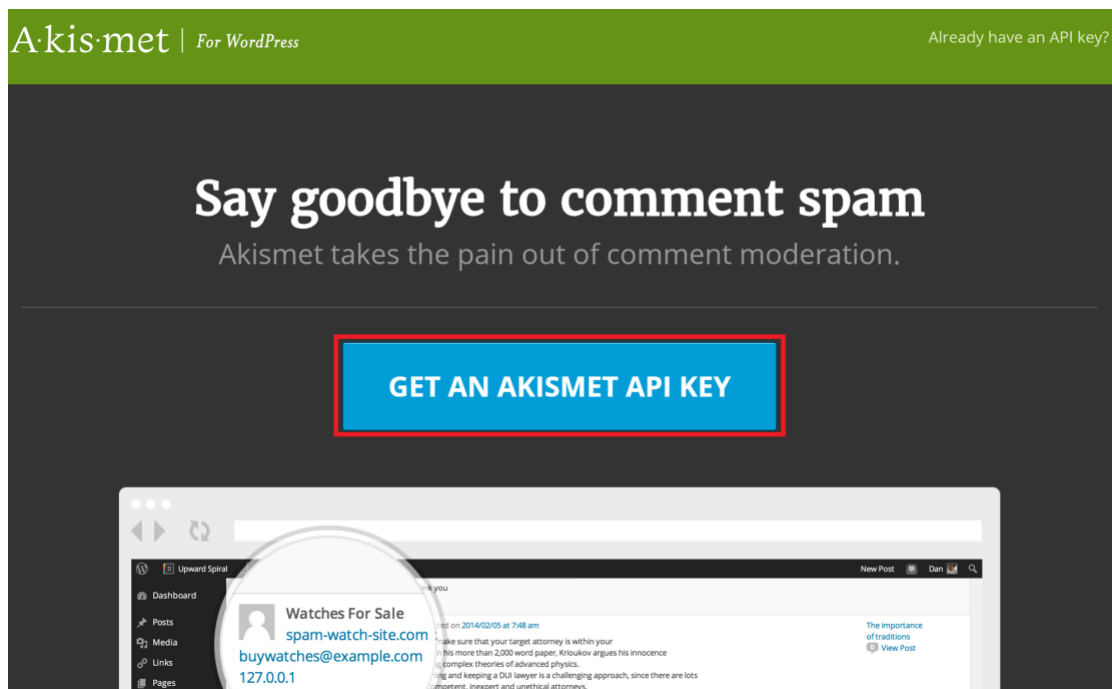
API キーを取得

または API キーを入力する

すでにキーをお持ちの場合はここに入力してください。 [\(API キーとは何ですか?\)](#)

API キーを使って接続する

「API キーを取得」というところをクリックすると以下のような画面が出てくるので、青枠の部分をクリックしましょう。



The screenshot shows the Akismet website interface. At the top left, it says 'Akismet | For WordPress'. At the top right, it says 'Already have an API key?'. The main heading is 'Say goodbye to comment spam' with the subtext 'Akismet takes the pain out of comment moderation.' Below this is a large blue button with a red border that says 'GET AN AKISMET API KEY'. At the bottom, there is a preview of a WordPress dashboard showing a comment from 'Watches For Sale' with a red circle highlighting the 'GET AN AKISMET API KEY' button on the comment.

そして、次の画面でメールアドレス、ID、パスワードの順番に入力して、Akismet を使用するためのアカウントを作成します。

「Password」は、必ず、数字とアルファベットを混ぜたものにしてください。

これらの「Username」と「Password」は大事にメモしておきましょう。

入力次項を入力すると「Sign up →」というボタンがクリックできるようになりますのでクリックしましょう。

すると、次のような画面が出てくるので、一番左の「Basic」を選択しましょう。

Simple, Affordable Pricing.

BASIC	PLUS	ENTERPRISE
Name Your Price Help us fight spam.	¥625 Per month, per site	¥6,250 Per month, unlimited sites
Spam protection for personal sites and blogs.	Spam protection for professional or commercial sites and blogs.	Bulletproof spam protection for large networks or multisite installations.
Get Basic	Get Plus	Get Enterprise
Spam protection	Spam protection	Spam protection
Supports commercial sites	Supports commercial sites	Supports commercial sites
Advanced stats	Advanced stats	Advanced stats
Priority support	Priority support	Priority support

次に切り替わった場面では赤枠の部分をご覧ください。

PAYMENT METHOD VISA, MasterCard, AMEX, DISCOVER	Akismet Basic change plan What is Akismet worth to you? ¥4,500 / YEAR 😊
CONTACT INFO First Name, Last Name	Plan Details Spam protection for strictly non-commercial use. Want more features or need a commercial subscription? Choose from our other subscriptions.
PAYMENT DETAILS Card Number, Security Code (?), Expiration Date (01: January)	SECURE CHECKOUT Our site uses 128 bit encryption so your credit card stays safe at all times.

Akismet だけではなく、多くのプラグインが世の中には出回っているのですが、中にはこのように「寄付」によって成り立っているものも少なくありません。

画面のままだと、「年間 4,500 円」かかってしまいますので、心優しい方はそのまま登録を進めてもらっても構いませんが、ここを「0円」にしておきましょう。

すると、クレジットカード情報を入力する欄が消えて、名前を入力する欄だけが表示されるので、自分の名前を入れて「Continue」をクリックしてください。

The screenshot shows a registration form with two main sections. On the left, under the heading "CONTACT INFO", there are two input fields for "First name" and "Last name", and a blue "CONTINUE" button below them. A red box highlights the name fields, and another red box highlights the "CONTINUE" button. Below the button, it says "By clicking Continue you agree to our terms and privacy policy." On the right, under the heading "WHAT IS AKISMET WORTH TO YOU?", there is a slider control. The slider is set to "\$0.00/yr" and "Yearly contribution: \$0". A red box highlights the "\$0.00/yr" value. Above the slider, it says "You selected: Personal blog access (change p)".

It looks like you're adding a site!

Click to activate **kaikatsu-dictionary.com**

Activate this site Cancel

すると、次にこの様な画面が出てきます。

ここでは自分のサイトのドメインが表示されていることを確認して「Activate this site」をクリックしてください。

Akismet は現在サイトをスパムから保護しています。ブログをお楽しみください。

設定

- API キー
- コメント コメントの投稿者の横に承認されたコメント数を表示する。
- 厳密度 最も悪質な種類の広範囲なスパムを自動的に削除し、目に触れないようにする。
 スпамを常にスパムフォルダーに振り分けレビューする。
注意: [スパムフォルダー](#)内の15日以上経過したスパムは自動的に削除されます。

[このアカウントの連携を解除](#)

変更を保存

次にこの様な画面が出てきます。

この画面では取得した API キーがすでに Wordpress に入力された状態になっていますので、まずは取得した API キーを控えておいてください。

その後、右下の変更を保存をクリックして設定を終えます。

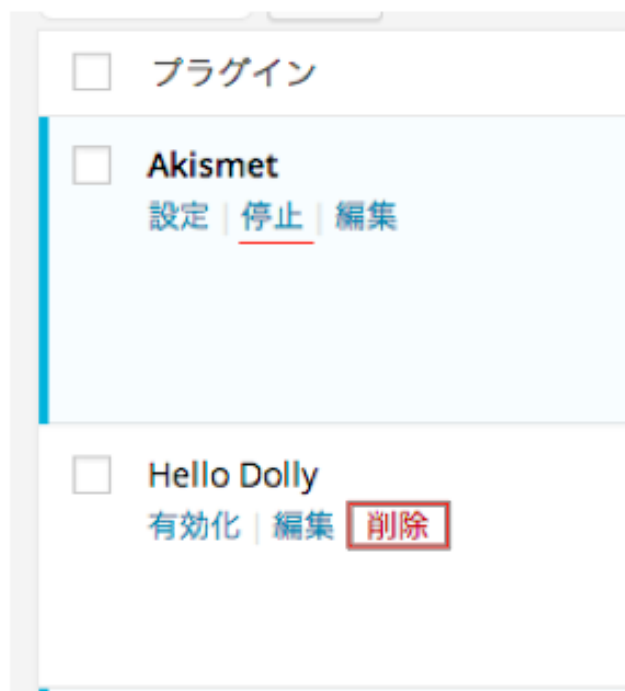
次に Akismet を有効化したついでに WP Multibyte Patch も有効化しましょう。手順は先ほどと同じです。

この WP Multibyte Patch は日本語関連のバグを回避してくれるプラグインになります。もともと WordPress は海外のソフトですので、日本語が表示できないことがあります。

そういった文字化けだったりバグだったりを起こさないよう、WordPress に日本語パッチをあてるためのプラグインとなりますので、必ず有効化しておいてください。

この WP Multibyte Patch は Askimet のように特別何かを設定しなくても、有効化するだけで動き出しますので、忘れず有効化するようにしましょう。

また、最初からインストールされているプラグインとして、Hello Dolly というものがあると思いますが、こちらは必要ありませんので、削除してまいましょう。



もし、誤って有効化してしまっている場合は、Akismet の下に表示されている「停止」をクリックすれば、図のようにプラグインを囲む枠が白くなり、「削除」のボタンが表示されます。

今後もしろいろなプラグインを入手して必要のないプラグインを整理しようと思った時は、この手順と同じようにして削除することができますので、覚えておいてください。

また、Hello Dolly の他にもう1つ「TypeSquare Webfonts for エックスサーバー」というプラグインもインストールされています。

このプラグインは wordpress で記事を書く時に使えるフォントを増やす為のプラグインです。

とても性能の良いプラグインではあるのですが、基本的には記事を書くうえでフォントを変更する必要はないので有効化せず、そのままの状態
で放置しておきましょう。

site kit by google

ワードプレスの管理画面にグーグルアナリティクスのアクセス解析のグラフなどを表示してくれるプラグインです。

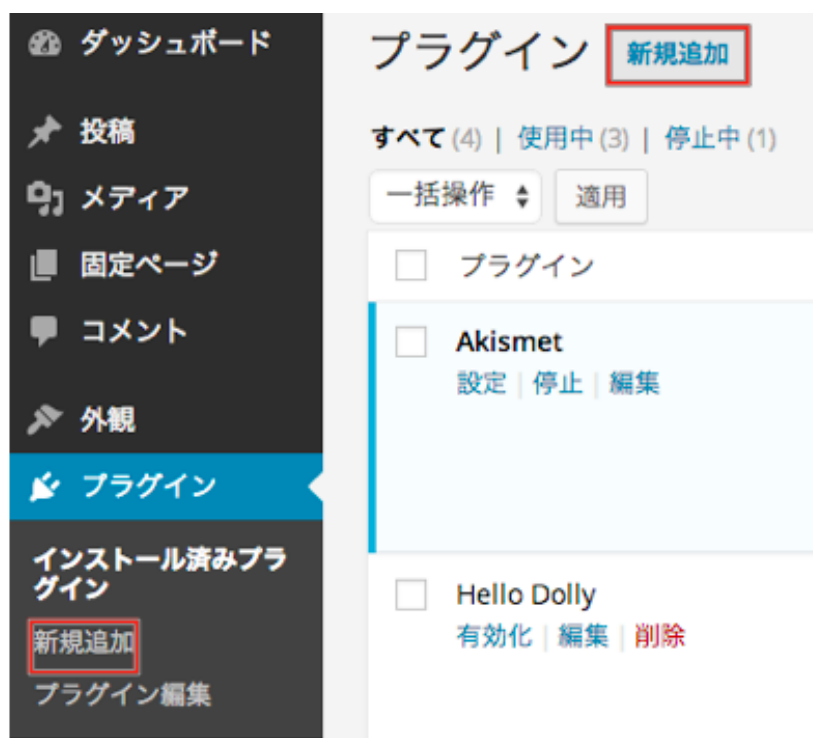
もし、グーグルアナリティクスのアカウントを持っていない場合は、無料で登録ができますので、入手しておきましょう。

グーグルアナリティクスの登録方法と使い方はこちら

⇒<http://tafcue.com/google-analytics/google-analytics-introduction001/>

グーグルアナリティクスの登録が完了したら、まずは site kit by google のインストール手順について説明します。

まずは管理画面のプラグインから「新規追加」をクリックしてください。



すると、図のようにプラグインを検索することができますので、入力欄に site kit by google と打ち込みましょう。

この際「sitekitbygoogle」と間のスペースを抜いてしまうと正しく検索結果が表示されないことがあるので注意してください。



正しく入力出来たら、トップに site kit by google が表示されるはずですので「今すぐインストール」をクリックします。

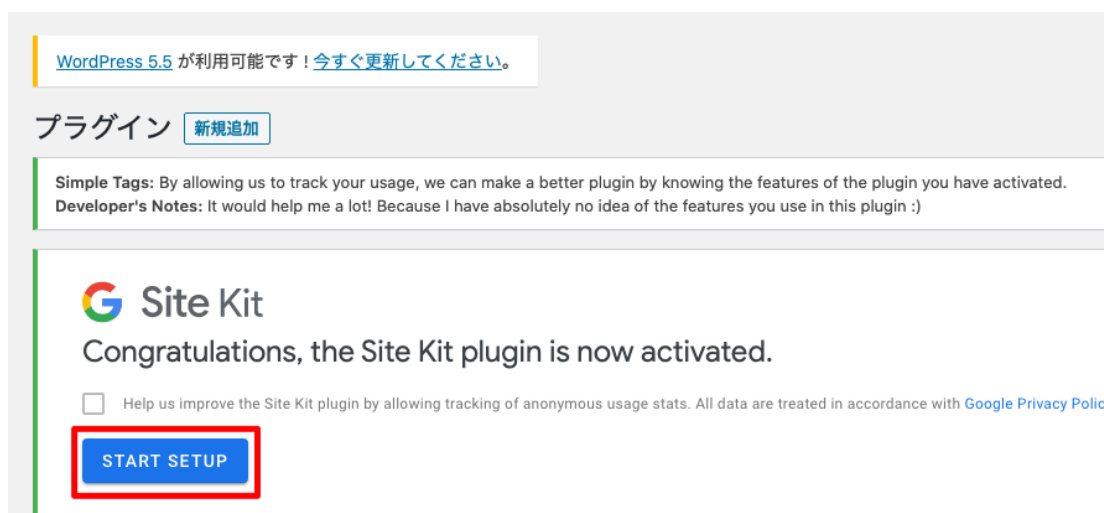


そのまま有効化もしてしまいましょう。
インストールが完了すると「今すぐインストールの場所が「有効化」に変わるので、クリックすれば有効化は完了です。



The image shows a WordPress plugin card for 'Site Kit by Google'. On the left is the Google 'G' logo. To its right, the text reads 'Site Kit by Google' in blue, followed by a description: 'Site Kit ひとつで、Googleが提供するWeb上で成功するためのあらゆるツールを WordPress...'. Below that, it says '作成者: Google'. In the top right corner, there is a blue button labeled '有効化' (Activate) which is highlighted with a red box, and a link for '詳細情報' (More information). At the bottom left, there are five stars (4.5 rating) and '(156)' reviews, and '有効インストール数: 600,000+'. At the bottom right, it says '最終更新: 5日前' and '✓ 使用中の WP バージョンと互換性あり'.

有効化すると以下のような画面が出てくるので「START SETUP」をクリックして設定を進めていきます。



The image shows the activation screen for the Site Kit plugin. At the top, there is a notification: 'WordPress 5.5 が利用可能です! [今すぐ更新してください。](#)'. Below that, there is a 'プラグイン' (Plugin) section with a '新規追加' (Add New) button. The main content area shows the Site Kit logo and the text: 'Congratulations, the Site Kit plugin is now activated.' There is a checkbox for 'Help us improve the Site Kit plugin by allowing tracking of anonymous usage stats. All data are treated in accordance with [Google Privacy Policy](#)'. At the bottom, there is a blue button labeled 'START SETUP' which is highlighted with a red box.

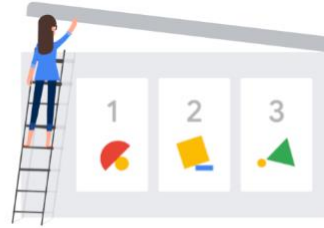
すると以下のような画面に遷移するので「Google でログイン」をクリックしましょう。

Site Kit へようこそ。設定を始めましょう

の所有権の確認と、Search Consoleのプロパティ設定のため、sitekit.withgoogle.com が
とご利用の Google アカウントのデータへのアクセスを求めています。
この手続きを開始するには、Google アカウントでログインする必要があります。

- 1 サイトの所有権を確認する
- 2 に、Google アカウントのデータへのアクセスを許可する。
- 3 Search Console を設定する

Google でログイン [キャンセル](#)



すると Google のアカウントのログイン画面に移動します。

表示されたアカウントの中からアナリティクスで使用しているアカウントを選択しましょう。



※このときアカウント選択画面に移行せずに「このアプリでは「Google ログイン」機能が一時的に無効」と出ることがあります。

この表示が出たときは、日にちを空けてから再チャレンジしてみてください。

Site Kit への権限の付与



アカウントを選択すると上記のような画面が出てくるので「許可」をクリックしてください。

するとまた同じような画面が出てくるので、こちらも「許可」を選択してください。

次に以下のような画面が出てくるので、こちらも「許可」を押します。

選択内容を確認してください



Site Kit に以下を許可しています。

- Google で公開されているお客様の個人情報とお客様を関連付ける

- ユーザーの個人情報の表示（ユーザーが一般公開しているすべての個人情報を含む）

- メールアドレスの表示

- 確認済みサイトの Search Console データの表示と管理

- 管理しているサイトとドメインのリストの管理

Site Kit を信頼できることを確認

機密情報をこのサイトやアプリと共有する場合があります。Site Kit の[利用規約](#)と[プライバシーポリシー](#)で、ユーザーのデータがどのように取り扱われるかをご確認ください。アクセス権の確認、削除は、[Google アカウント](#)でいつでも行えます。

[リスクの詳細](#)

キャンセル

許可

すると、以下の画面に遷移するので「続行」をクリックしてください。

Site Kit へようこそ。設定を始めましょう

- 1 サイトの所有権を確認する
[redacted] の所有権を確認しましょう。サイトの HTML コードに確認トークンを追加する必要があります。
- 2 [redacted] に、Google アカウントのデータへのアクセスを許可する。
- 3 Search Console を設定する

すると、以下の画面が出てくるので「サイトを追加」をクリックしていきましょう。

Site Kit へようこそ。設定を始めましょう

- ✓ お客様が次のサイトの所有者であることが確認されました。 [redacted]
- ✓ [redacted] が Google アカウントのデータにアクセスできるようになりました。
- 3 Search Console を設定する
Search Console に [redacted] が追加され、Google 検索でご自身のサイトがどのように検索されているかを確認できるようになります。

これで site kit by google の設定は完了です。

続いて「ダッシュボードに移動」をクリックしましょう。

Site Kit へようこそ。設定を始めましょう

- ✓ お客様が次のサイトの所有者であることが確認されました。
- ✓ [redacted] が Google アカウントのデータにアクセスできるようになりました。
- ✓ [redacted] が Search Console で設定されました。

これで完了です。

Site Kit が正常に設定されました。これで、ご自身のサイトが Google 検索でどのように表示されるか、Google 検索からの訪問者数、サイト内の人気のあるページ、ユーザーが Google 検索からどのようにしてサイトを見つけたかを確認できるようになります。

[ダッシュボードに移動](#)



ダッシュボードに移動したら、次は site kit by google とアナリティクスと提携していきます。

ダッシュボード内の以下の項目をクリックしてください。

Learn more about what visitors do on your site.

Connecting with Google Analytics to see unique visitors, goal completions, top pages and more.

[SET UP ANALYTICS](#)

すると、またアカウントを選択する画面に移動するのでアナリティクスを設定しているアカウントを選択します。

アカウントの選択

[「Site Kit」に移動](#)





 別のアカウントを使用

続行するにあたり、Google はあなたの名前、メールアドレス、言語設定、プロフィール写真を Site Kit と共有します。このアプリを使用する前に、Site Kit の [プライバシー ポリシー](#) と [利用規約](#) をご確認ください。

アカウントを選択すると以下の画面に移動するので「許可」をクリックします。

Site Kit への権限の付与

-  Google アナリティクス データの表示 
-

拒否

許可

すると、以下の画面に移動するので「許可」をクリックします。

選択内容を確認してください



Site Kit に以下を許可しています。

Google アナリティクス データの表示

Site Kit にはすでに以下へのアクセスを許可しています。

- Google で公開されているお客様の個人情報とお客様を関連付ける
- ユーザーの個人情報の表示（ユーザーが一般公開しているすべての個人情報を含む）
- メールアドレスの表示
- 確認済みサイトの Search Console データの表示と管理
- 管理しているサイトとドメインのリストの管理

Site Kit を信頼できることを確認

機密情報をこのサイトやアプリと共有する場合があります。Site Kit の[利用規約](#)と[プライバシー ポリシー](#)で、ユーザーのデータがどのように取り扱われるかをご確認ください。アクセス権の確認、削除は、[Google アカウント](#)でいつでも行えます。

リスクの詳細

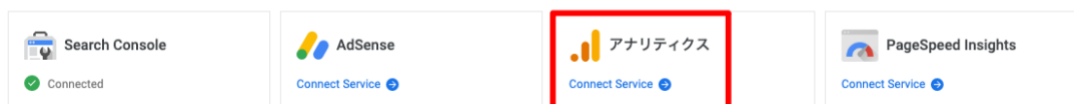
キャンセル

許可

次にダッシュボードに戻るので、以下の赤枠の部分をクリックします。

Congrats on completing the setup for Site Kit!

Now you'll be able to see how your site is doing in search. To get even more detailed stats, activate more modules. Here are our recommendations for what to include in your Site Kit:



移動した画面で該当のアナリティクスデータを選択して「CONFIGURE ANALYTICS」を選択してください。

CONNECT SERVICE

Analytics

Please select the account information below. You can change this view later in your settings.


Account


Property


View

CONFIGURE ANALYTICS

これで設定は完了です。

 Search Console
✓ Connected

 AdSense
[Connect Service](#) →

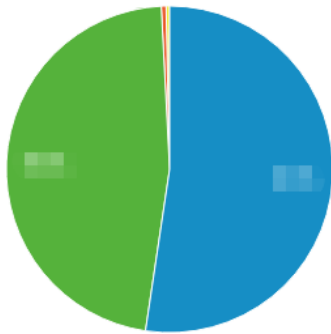
 アナリティクス
✓ Connected

OK, Got it!

Site Overview

All Traffic

How people found your site.



- Direct
- Organic Search
- Referral
- Social

1. Direct

2. Organic Search

3. Referral

4. Social

Source: アナリティクス

ここで1つだけ設定しておいて欲しいのが、ページ下部にある高度なオプションの中の「段落タグの保持」の部分にチェックを入れておくことです。

高度なオプション

CSS クラスメニューの作成
editor-style.css で使用される CSS クラスを読み込み、フォーマットメニューを置き換えます。

段落タグの保持
保存時に <p> と
 タグを削除せず、テキストエディタ上に表示するテキストエディターの自動補完を停止し、より高度なコーディングが可能です。しかし、まれに予想できない振る舞いをするため、常用前に充分テストを行ってください。なおテキストエディター内での改行は出力に含まれます。このため空の行や HTML タグ内の改行、複数の
 タグは使用しないでください。

画像元の貼り付けを有効にする
Firefox と Safari のみサポート。画像は直接エディターに貼り付けることができ、base64 エンコード文字列に変換されます。写真などの大きな画像には好ましくありませんが、アイコンのように 2~3KB の非常に小さな画像には役立つこともあるはずですが、これらの画像のメディアライブラリーでの使用はできません。

これによって先述した改行が自動的に 1 行になる仕様を止めることができますので、必ず設定しておくようにしましょう。

Google XML Sitemaps

サイトを運営して行く上で、検索エンジンに効率よくサイトを見てもらうため(SEO 対策)にも、サイトマップの作成は必要不可欠です。

しかし、イチイチ手動で全部の記事のリンクを貼って行って・・・なんて想像するだけでも面倒くさいですよ。

そこで、簡単にサイトマップを自動作成してくれるプラグインを紹介しようと思います。それが、この Google XML Sitemaps になります。

Google XML Sitemaps に関しては、今まで解説してきた他のプラグインのインストールと同様に、プラグインの新規追加から検索して、インストールできますので、インストールして有効化してください。

では、次に設定を行います。

ツールバーの「設定」から「XML-Sitemap」を選択してください。

ページが変わると色々な設定ができますが、以下の画像のように設定してください。

サイトによっては英語で表記されている可能性があります。デザインを見れば、何となくどこがどの項目か分かると思います。

英語自体もそこまで難しくはないので、自力で解読してもいいと思います。

どうしてもわからない＆英語なんて読めるか！って人は和訳サイトを使いながら頑張って設定していきましょう。

基本的な設定

通知を更新: [さらに詳しく](#)

Google にブログの更新を通知

登録は必要ありませんが、[Google ウェブマスターツール](#) でクロール関連の統計を見ることができます。

Bing (旧名 MSN Live サーチ) にブログの更新を通知

登録は必要ありませんが、[Bing ウェブマスターツール](#) でクロール関連の統計を見ることができます。

サイトマップの URL を仮想 robots.txt ファイルに追加

WordPress が生成した仮想 robots.txt ファイルを使用しています。実際の robots.txt ファイルをブログディレクトリに置かないでください。

投稿の優先順位

投稿の優先順位の計算方法を選択してください:

優先順位を自動的に計算しない

すべての投稿が "優先順位" で定義されたのと同じ優先度を持つようになります。

コメント数

コメント数から投稿の優先順位を計算する

平均コメント数

平均コメント数を使って優先順位を計算する

Sitemap コンテンツ

WordPress標準コンテンツ:

ホームページ

投稿 (個別記事) を含める

固定ページを含める

カテゴリーページを含める

アーカイブページを含める

投稿者ページを含める

タグページを含める

詳細なオプション:

最終更新時刻を含める。

これは非常に推奨であり、検索エンジンがあなたのコンテンツが変更された時間を知る助けになります。このオプションはすべてのサイトマップエントリに影響します。

更新頻度の設定 (changefreq)

メモ: このタグの値は絶対的な命令ではなくヒントとみなされます。検索エンジンのクローラはこの設定を考慮に入れますが、"1時間おき"の設定にしてもその頻度でクローリングしないかもしれないし、"年に1度"の設定にしてもより頻繁にクローリングされるかもしれません。また"更新なし"に設定されたページも、予想外の変更に対応するため、おそらく定期的にクローリングが行われるでしょう。

毎日	▼	ホームページ
毎週	▼	投稿 (個別記事)
更新なし	▼	固定ページ
毎週	▼	カテゴリー別
更新なし	▼	今月のアーカイブ (たいていは"ホームページ"と同じでしょう)
毎年	▼	古いアーカイブ (古い投稿を編集したときのみ変更されます)
更新なし	▼	タグページ
更新なし	▼	投稿者ページ

優先順位の設定 (priority)

0.8	▼	ホームページ
0.8	▼	投稿 (個別記事) ("基本的な設定"で自動計算に設定していない場合に有効)
0.8	▼	投稿優先度の最小値 ("基本的な設定"で自動計算に設定している場合に有効)
0.0	▼	固定ページ
0.8	▼	カテゴリー別
0.0	▼	アーカイブ別
0.0	▼	タグページ
0.0	▼	投稿者ページ

ここまで設定したら、ページ最下部の「保存」ボタンを押せば、設定は完了です。

Simple Tags

記事にはキーワードごとのタグをつけることができます。カテゴリーは基本的に1つの記事につき、1つのカテゴリーで分類しますが、このタグは1つの記事にいくつもつけることができます。

タグは付箋のような役割を持っていて、たとえば「料理」というカテゴリーの記事を作ったとして、他にも「和食」「中華」「洋食」「卵料理」「肉料理」のようにさまざまな分類の仕方ができますよね。

そのような場合にこのタグをつけることで訪問者さんがより目当ての記事を見つけやすくなるのです。

また、今のところ Google などの検索エンジンは、「1つのタグにつき1つの記事が生成された」というふうに認識しますので、SEO 対策にもかなり有効です。

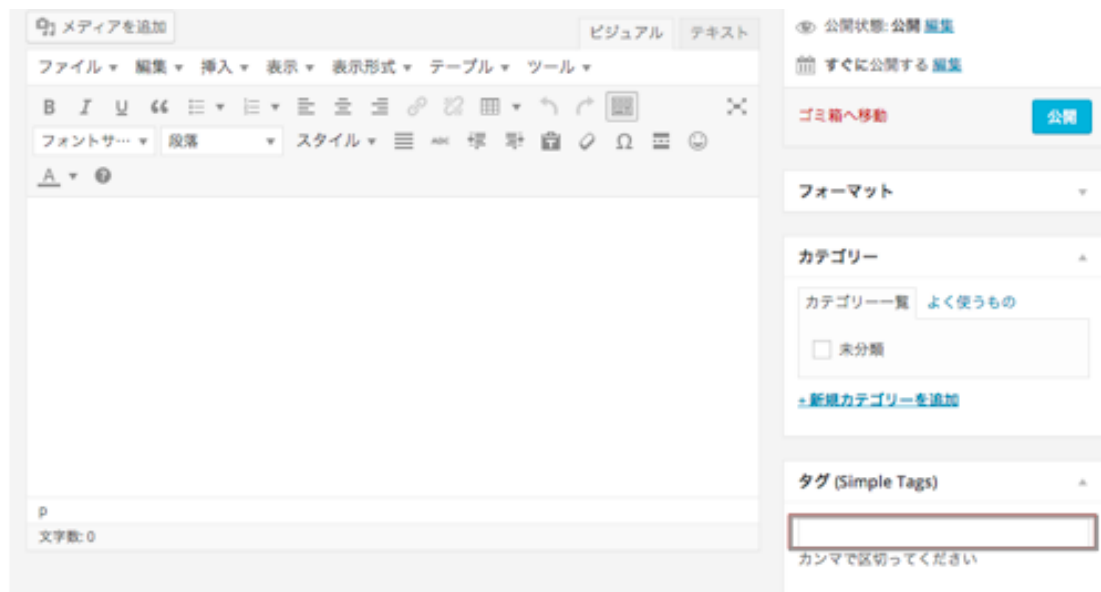
つまり、どういうことかという、1つの記事に5つのタグをつけたとしますよね。すると見た目は1つの記事が投稿されただけなのですが、検索エンジンからは5つの記事が生成されたというふうに認識されるのです。

こちらのプラグインも新規追加⇒検索からインストール・有効化ができますので、インストールをしておいてください。特に設定をしなくても有効化すれば、自動的に動き出します。

それでは、記事にタグをつけるにはどうすればいいのか？

まずは管理画面の投稿メニューにある「新規追加」をクリックしてください。

すると図のような画面に切り替わると思います。



図の赤枠で囲った部分に先ほどのタグを入れてみましょう。この際、複数のタグをつける場合はカンマ区切りで入力してください。

たとえば、先ほどの料理に関する記事であれば、

和食,中華,洋食,卵料理,肉料理

このように入力して行ってください。

また、先ほどタグをつけた分だけ検索エンジンに記事として認識されるということを書いたのですが、あまりたくさんつけすぎると逆に検索エンジンの評価を下げてしまいますので、注意してください。

1つの記事につき、多くてもせいぜい5つまでしておくといいでしょう。

BackWPup

これはWordPressの設定や記事のバックアップをとっておくためのプラグインです。

他のプラグインと同様、こちらもプラグインの新規追加⇒検索からインストールすることができます。検索結果には「BackWPup Free - WordPress Backup Plugin」と表示されていると思いますので、そちらをインストール・有効化しておいてください。

すると管理画面のメニューに「BackWPup」というメニューが追加されると思いますので、「新規ジョブを追加」をクリックしてください。



ここで新しいバックアップの設定を行います。まずは「このジョブの名前」と書かれた欄に任意のジョブ名を入れましょう。ここでは backup としていますが、ローマ字であれば何でもかまいません。

次にページ中段の「ジョブの伝送先」という項目にある「フォルダーへバックアップ」にチェックを入れてください。

これにて設定は完了なので、最後に「変更を保存」をクリックします。

ジョブの伝送先

バックアップファイルの保存方法

フォルダへバックアップ

メールでバックアップを送信

FTP にバックアップ

Dropbox にバックアップ

S3 サービスにバックアップ

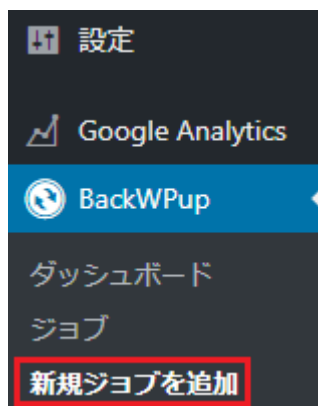
Microsoft Azure にバックアップ (Blob)

Rackspace のクラウドファイルにバックアップ

SugarSync にバックアップ

変更を保存

今度はメニューの「ジョブ」をクリックしてください。



backup
編集 | コピー | 削除 | **今すぐ実行**

すると、先ほど作成したジョブが表示されていると思いますので、ここで「今すぐ実行」をクリックするとバックアップの作成が始まります。



しばらく待ってこのように「100%」が表示されたらバックアップの作成は完了です。「閉じる」をクリックしてこの画面は閉じてもらってかまいません。

ただし、この状態はサーバーにあるフォルダにバックアップを保存しただけですので、万が一のために自分のパソコンにも保存しておきたい場合は、もう一度メニューの「ジョブ」をクリックしてください。

一括操作	適用	ジョブ名	タイプ	宛先	次回の実行	前回の実行
<input type="checkbox"/>		backup	DB バックアップ ファイル プラグイン	フォルダ	無効	2017年8月24日 3:24 PM 実行時間: 5秒 ダウンロード ログ
		ジョブ名	タイプ	宛先	次回の実行	前回の実行

すると右のほうに「ダウンロード」という項目が追加されていると思いますので、こちらをクリックすると自分のパソコンへの保存ができます。

バックアップは1ヶ月に1回など、自分で定期的にとっておくといいでしょう。まあ、WordPress の場合はアメブロなどの無料ブログに比べて削除されるリスクがかなり低いので、そこまで神経質にならなくてもいいと思います。

実際に、僕が運営しているいくつかのブログや、この講座を受講してくれている方、僕の周りでブログを運営している友人の話聞く限り、いまだに削除された、不具合を起こして動かなくなった、という例は聞いたことがありません。

なので、そこまで神経質にならず、たまに念のためバックアップをとっておく、くらいの意識でいいでしょう。

また、もし BackWPup 導入後に WordPress に不具合が出るようであれば、代用プラグインとして「UpdraftPlus」を導入してください。

【補足】 UpdraftPlus

では「UpdraftPlus」の設定方法について説明していきます。

もし「BackWPup」で不具合なくバックアップができている場合は不要となりますので以下の内容は飛ばしてください。

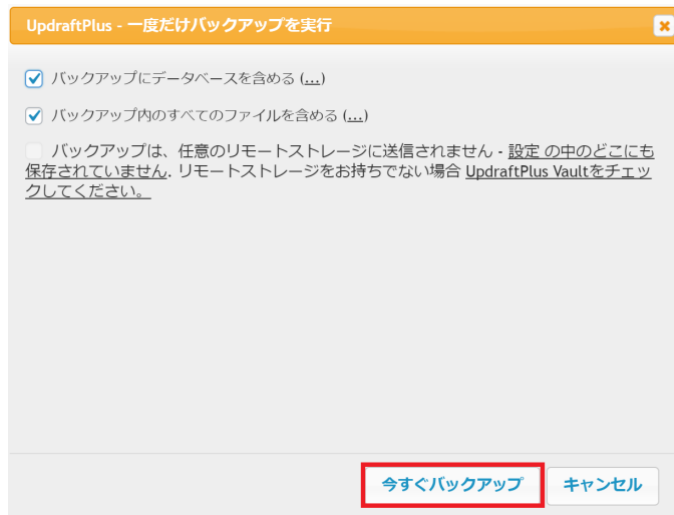
まずは、これまで通り検索からインストール、有効化まで済ませてください。



では、まず最初にちゃんとデータの復元ができるかのテストを行います。プラグインのメニューから UpdraftPlus⇒設定をクリックしてください。



すると上記の様な画面が出てくるのでまずは「今すぐバックアップ」を押してみましょう。



上記の様な画面が出てきますが、気にせずに「今すぐバックアップ」で大丈夫です。



すると、0だったバックアップ済みの部分が1に変わります。

これでバックアップデータの作成が完了しました。

UpdraftPlus Backup/Restore

UpdraftPlus へようこそ!バックアップを作成するには「今すぐバックアップ」ボタンをクリックしてください。バックアップされているもののリモート・ストレージ (推奨) にバックアップを送信、スケジュールされたバックアップを構成などをするために「設定」タブに移動します。

[UpdraftPlus.Com](#) | [プレミアム](#) | [ニュース](#) | [Twitter](#) | [サポート](#) | [メールマガジン購読](#) | [開発者のホームページ](#) | [よくある質問](#) | [他のプラグイン](#) - バージョ

現在の状態 **バックアップ済み (1)** 設定 上級ツール プレミアム / 拡張

UpdraftPlus が使用しているウェブサーバの容量: 25.5 MB [更新](#)

他のタスク: [バックアップファイルをアップロード](#) | [新しいバックアップの為にローカルフォルダの再スキャン](#) | [リモートストレージを再ス](#)

バックアップ日付	データをバックアップする (クリックしてダウンロード)	アクション
Sep 04, 2017 10:50	データベース プラグイン テーマ アップロードファイル その他	復元 削除 ログを表示

次に赤枠で囲った「バックアップ済み」のタブを押して上記の画面に切り替えて「復元」のところを押してみましょう。

UpdraftPlus - バックアップを復元

バックアップの復元: Sep 04, 2017 10:50

復元中はこのサイトのテーマ、プラグイン、アップロード、データベース、および/または他のコンテンツのディレクトリ (バックアップセット、そしてあなたの選択に含まれているもの) を置き換えます。復元する構成を選択:

- プラグイン
- テーマ
- アップロードファイル
- その他
- データベース

データベースの復元オプション:
移行ツールのアドオンで、あなたは (新しい場所 / URL に Web サイトを移行するための) データベースを置き換えることができます。 - 詳細については、このリンクに従ってください。

復元前に知っておくと便利な情報を得るにはこの記事をお読みください。

[復元](#) [キャンセル](#)

すると、このような画面が出てくるので全てのチェック欄にチェックが入っていることを確認して「復元」を押してください。



このような画面が出てくれば復元テストは完了です。

次にプラグインの設定を行います。



タブの「設定」を選択すると、上記の様な画面が出てきます。

まずはバックアップスケジュールの設定ですが、ファイルとデータベースの両方とも更新頻度に合わせて設定してください。

上記の画面では一応 1 週間にしてありますが、1 週間毎日ブログを更新するのであれば、1 週間では少しスパンが長すぎますし、

逆に月に 1 回か 2 回ぐらいしか更新しないのであれば 1 週間は更新回数が多すぎます。

バックアップデータを取りすぎても不必要に容量が大きくなってしまいうので適切な頻度に設定してください。

次に「この多くのスケジュールされたバックアップを保持」という謎の言語ですが(笑)

意味合い的には 1 回のバックアップデータ取得でいくつデータを取るかということですが。

基本的には大丈夫なのですが、万が一データが破損していると当然復元はできないので、そのリスクヘッジのために複数個のデータを取得することができます。

余程、心配でない限り 1 でいいとは思いますが、心配な人はいくつか所得しておくといいと思います。

ただ、こちらも必要以上にデータを取得すると容量を食ってしまうので注意してください。

ちなみに取得したバックアップデータがどこに保存されているかというと、デフォルトの設定ではサーバー上に保存されています。

もし、サーバー上ではなくどこか別のところに保存したい場合は下記の画面のように設定の画面からデータの保存先を選べるので、任意の場所を選択してください。

保存先を選択
(選択または選択解除するアイコンを
タップ):

 UpdraftPlus Vault	 Microsoft OneDrive	 WebDAV
 Dropbox	 FTP	 S3-Compatible (Generic)
 Amazon S3	 Microsoft Azure	 OpenStack (Swift)
 Rackspace Cloud Files	 SFTP / SCP	 DreamObjects
 Google Drive	 Google Cloud	 Email

[アドオンを使用して、複数の宛先にバックアップを送信することができます。](#)

あなたは、リモート記憶域を選択しない場合、バックアップは、Webサーバー上に残っています。あなたのウェブサイトとのイベントでのバックアップの両方を失うことを意味するWebサーバを失うとして、（手動でコンピュータにコピーする予定がない限り）これは推奨されません。

この画面下部に表示されている謎言語ですが、意味合い的には、

「最初の設定ではバックアップデータは Web サーバー上に残ってるけど、何かしらのトラブルとかでサーバー自体がダメになった場合、ブログとバックアップデータの両方がダメになるから、手動で定期的にバックアップデータを自分のパソコンにコピーでもしていない限り、おススメはできないよ」

ということです。

EWWW image Optimizer

これは Wordpress にアップロードしている画像を圧縮して最適化することでサイトの表示を高速化したり、サーバーへの負荷を下げるプラグインです。

このプラグインに関しても他のプラグインと同じ様に新規追加⇒検索からインストール、有効化してください。

これで今後 Wordpress にアップロードされる画像は全て最適化された状態になります。

もし、このプラグインをインストールする前にすでに画像を Wordpress にアップロードしている場合は、以下の操作を行うことで全ての画像を最適化することができます。

メニューのメディアにカーソルを合わせると「一括最適化」という項目が出てくるので、ここをクリックしてください。



一括最適化

EWWW Image Optimizer へ使用情報トラッキングを許可しますか？ トラッキングを有効しデータを送信することで500枚の無料データは含まれません。 [詳しく見る。](#)

A message from the developer of Viper's Video Quicktags: My plugin, the one you are using, has been discontinued. It is recommended that you update to the new version which will allow you to disable and remove Viper's Video Quicktags without embeds in old posts breaking. For further details, please see the announcement.

これまでに最適化された画像は、デフォルトではスキップされます。

再最適化を強制

画像間で一時停止する時間を選択します (秒単位、0 = 無効)

174 個の画像が選択されています。

有効なテーマ、BuddyPress、WP Symposium、および設定したフォルダーも、最適化されていない画像がスキャンされます。

プラグインは、再最適化を防ぐために既に最適化された画像を追跡します。 これまでに最適化された 745 個の画像があります。

するとこのような画面が出てくるので「最適化されていない画像をスキャンする」をクリックしてください。

しばらくすると今度は「最適化を開始」というボタンが現れますのでそれをクリックしてしばらく放置すれば完了です。

あると便利なプラグイン

こっちは必須ではなくオマケみたいなものですが、入れておくと便利なプラグインがあるので、それを5つほど紹介したいと思います。

- Yet Another Related Posts Plugin (YARPP)
- WordPress Post Views
- Category Order and Taxonomy Terms Order
- Table of contents plus
- Fancier author box&WP User Avatar

この5つです。

Yet Another Related Posts Plugin (YARPP)

Yet Another Related Posts Plugin (YARPP)は、記事の最後に関連する記事を表示させてくれるプラグインです。
(長いので以下、YARPP と記載します)

ブログのPVを増やすためには欠かせないプラグインだと思いますので、ついでにインストールしておくといいでしょう。

このプラグインは検索からインストールできますので「今すぐインストール」⇒「有効化」を押してください。

検索結果 注目 人気 おすすめ お気に入り キーワード Yet Another Related Posts Plugin (YARPP)

7個の項目

Yet Another Related Posts Plugin (YARPP) [今すぐインストール](#) [詳細情報](#)

The most popular plugin to display a list of related posts on your site based on a powerful unique algorithm.

作者: YARPP

★★★★☆ (557) 最終更新: 2週間前
有効インストール数: 100,000+ ✓ 使用中の WP バージョンと互換性あり

Editorial Assistant by Sovrn [今すぐインストール](#) [詳細情報](#)

This plugin finds related posts and related images whil...

作者: Sovrn, zemanta

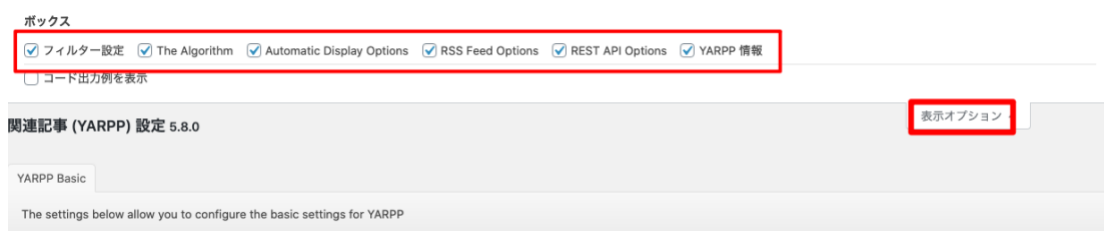
★★★★☆ (23) 最終更新: 3年前
有効インストール数: 2,000+ 使用中の WordPress バージョンで未検証

有効化ができれば YARPP の設定画面に移動してください。



すると設定画面が出てきます。

もし何も表示されていない場合は、画面右上の「表示オプション」をクリックして出てきた項目にチェックを入れてください。



画面を下にスクロールしていくと、「The Algorithm」という項目が出てくるので、その中の「表示する最低関連スコア」を 1 にしてください。

この関連記事プラグイン（YARPP）は各対象記事の関連スコアを計算し、ある関連スコア以上の記事だけを表示します。 ?

表示する最低関連スコア

1

タイトル:

検討する ▼

内容:

検討する ▼

カテゴリ:

検討する ▼

タグ:

検討する ▼

ここを1にしないと全然関連記事が表示されなくなってしまいます。

さらに下にスクロールしていくと「Automatic Display Options」という項目が出てきます。

その中の「Theme(テーマ)」を「サムネイル」で選択します。

これにより、記事のサムネイル+タイトルで関連記事を表示させられます。

また、その下のヘッダーは「この記事を読んだ人はこんな記事も読んでいます」、関連記事がない時のメッセージには「<p>関連記事はありません</p>」と記載してください。

Automatically display related content on: 投稿 固定ページ メディア アーカイブでも表示

Maximum number of posts:

4

Theme:



ヘッダー:

この記事を読んだ人はこんな記事

デフォルト画像 (URL):

関連記事がない時のメッセージ:

<p>関連記事はありません</p>

表示順番:

関連スコアの高い順

 Link to YARPP?

これで記事末に関連記事が表示されるようになりました。

最後にページの一番下までスクロールして「変更を保存」を押して完了です。

※設定直後はまだ YARPP が記事同士の関連性を認識できていないので関連記事が表示されないことがあります。

バグや設定ミスではないので、今の時点では気にしなくて大丈夫です

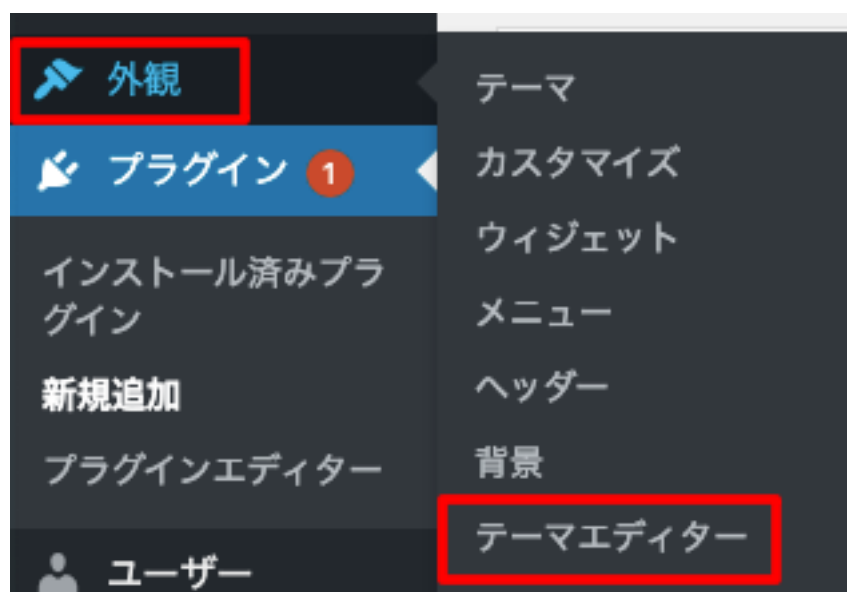
次に表示されるサムネイルの調整を行います。

YARPP ではサムネイルが正方形で表示されるようになっています。

しかし、サムネイルは長方形で作ることが多く、そのままだと正常に表示されなくなってしまいます。

なので、この問題を解決していきます。

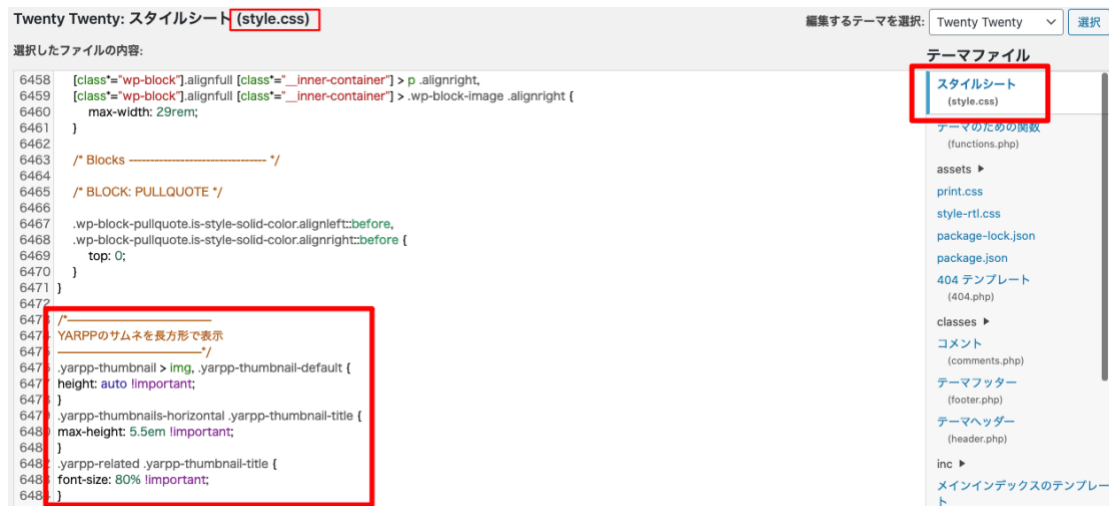
画面左のメニューバーから「外観」⇒「テーマエディター」を選択します。



「スタイルシート(style.css)」の一番下に、

```
/*—————  
YARPP のサムネを長方形で表示  
—————*/  
.yarpp-thumbnail > img, .yarpp-thumbnail-default {  
height: auto !important;  
}  
.yarpp-thumbnails-horizontal .yarpp-thumbnail-title {  
max-height: 5.5em !important;  
}  
.yarpp-related .yarpp-thumbnail-title {  
font-size: 80% !important;  
}
```

と記載してください。
(コピペで OK です)



(テーマが Bizvektor になっていませんが、気にしないでください)

その後、「ファイルを更新」を押して完了です。

※サイトのほうで別途テーマについては解説しているのですが、テーマを変更するたびにこの設定を行うようにしてください。

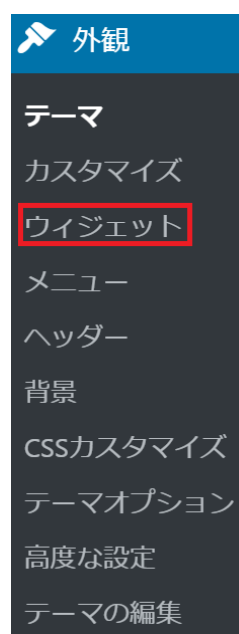
WordPress Popular Posts

よく読まれる人気記事を自動で表示してくれるプラグインです。PV 数なども表示してくれるので、読まれる記事がさらに読まれる効果もあります。

こだわってカスタマイズをしたいというとき以外には、特に設定などは不要ですが、ウィジェット機能を使ってサイドバーに人気記事を表示させる手順だけ見ておきましょう。

まずは、他のプラグイン同様に検索からダウンロード⇒有効化してください。

その後、「外観」⇒「ウィジェット」と進みます。



利用できるウィジェットの中から「WordPress Popular Posts」を探して、見つかったら、サイドバーの表示させたいところにドラッグ&ドロップで移動させます。



「WordPress Popular Posts」の文字の右にある「▼」を押すと詳細設定ができるのですが、「タイトル」の部分だけ、お好みで、「人気記事一覧」などに名前を変えておきましょう。

また、計測期間は「全期間」にしておきましょう。

「最大表示数」は自分の好みの数に設定してください。

サイドバーウィジェット ▲

WordPress Popular Posts ▲

タイトル: ⓘ
人気記事一覧

最大表示数:
5 件の投稿があります

ソート順:
総閲覧数 ▼

フィルター

計測期間:
全期間 ▼

選択期間内に公開された投稿のみを表示

投稿タイプ: ⓘ
post,page

除外する投稿 ID:

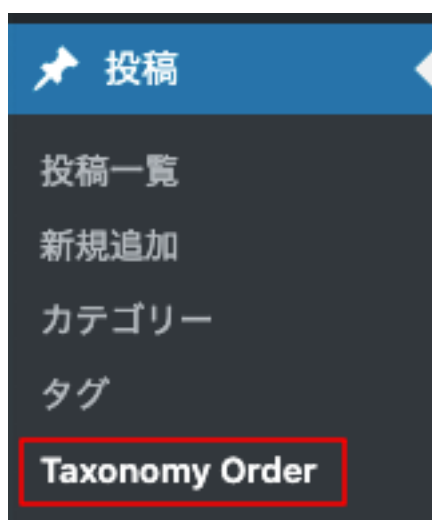
また、こちらにも実際に表示が始まるまで少し時間がかかりますので気長に待ってくださいね。

Category Order and Taxonomy Terms Order

次は記事のカテゴリーを並べ替えるために使う Category Order and Taxonomy Terms Order のインストール手順について説明して行きます。

検索してインストール⇒有効化します。

こちらは特に設定は必要ありませんが、念のため使い方も見て行きま
すね。



投稿メニューに Taxonomy Order と表示されるので、クリックします。



するとこのような画面が表示されます。

まだ WordPress をインストールしたての場合、おそらくここには「未分類」のみしか表示されていないかと思いますが、今後たくさん記事を書いたときにカテゴリーを分類したくなったら、この画面でカテゴリーをドラッグ&ドロップで入れ替えることができます。

この画面はあまり頻繁に使うことはないかと思いますが、必要な時のために頭の片隅にでも置いておいてください。

Table of contents plus

次のプラグインは記事内に目次を自動生成してくれる Table of contents plus です。

記事中の見出しに対応して目次を生成してくれるので、非常に便利なプラグインとなっています。

こちらのプラグインは Word Press の検索からインストールできるので有効化まで済ませてください。

では、次に設定をしていきますが、設定画面を開くとこの様な画面が出てきます。

この赤枠で囲った「表示条件」ですが、ここを2つにしておきましょう。

デフォルトでは4つに設定されていますが、それだとブログの方向性によってはこのプラグインが全く機能しなくなる可能性があるため2つ以上にしておきましょう。

また、以下のコンテンツタイプを自動挿入の「Post」「page」の両方にチェックを入れ、

見出しテキストの部分が最初は「contents」になっていますので、「目次」やその他、好きな文章を記入してください。

あと、テキストを表示するの部分では最初は「show」「hide」となっていて、少し分かりづらいので「表示する」「非表示にする」などの文言に変えておくと親切です。

基本設定 サイトマップ ヘルプ

位置

表示条件 つ以上見出しがあるとき

以下のコンテンツタイプを自動挿入

- post
- page
- custom_css
- customize_changeset
- info

見出しテキスト 目次の上にタイトルを表示

例: コンテンツ、目次、ページコンテンツ

ユーザーによる目次の表示・非表示を切り替えを許可

テキストを表示	表示する	例: 表示
テキストを非表示	非表示にする	例: 非表示

最初は目次を非表示

設定は以上となります。

ちなみにですが、このプラグインを導入して見出しを含む記事を生成すると以下の様な目次ができあがります。

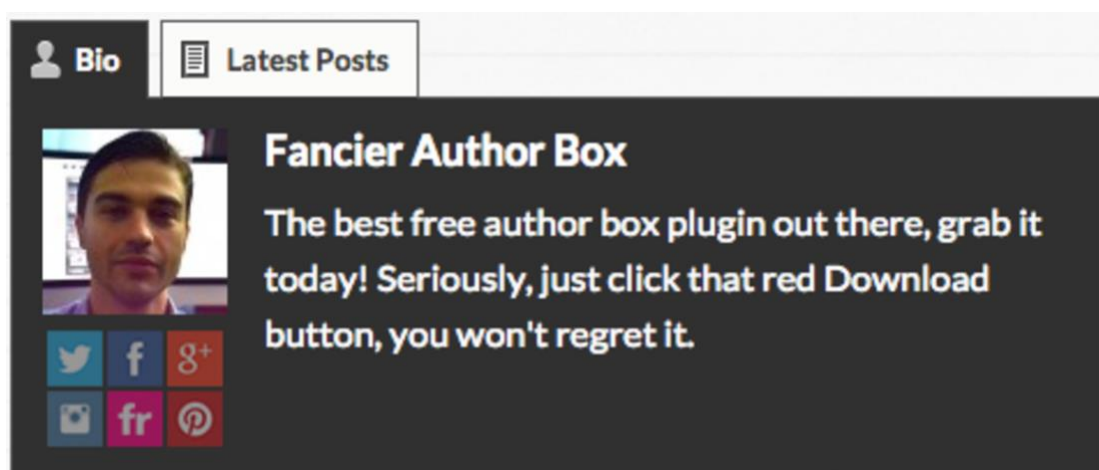
目次 [非表示にする]

- 1 プラグインマニュアル
 - 1.1 必須プラグイン
 - 1.1.1 EWWW Image Optimizer
 - 1.2 あると便利なプラグイン
 - 1.2.1 Table of contents plus

Fancier author box & WP User Avatar

次は記事中に投稿者情報を表示してくれるプラグインです。

以下の様な感じですね。



この画像は外国人の方ですが、こんな風にこの記事を書いた人といった具合で投稿者情報を表示させることができるのがこのプラグインです。

このプラグインも検索からインストールすることができるので有効化までしてください。

では、設定ですが、Fancier Author box の設定画面を開くとこの様な画面が出てきます。

表示設定
 投稿、固定ページ、カスタム記事におけるFancier Author Boxの表示を選択する

投稿画面で表示する

固定ページで表示する

表示 in お知らせ

最新の記事 表示される最新記事の数:

色の設定

アクティブでないタブの色 (Inactive tab colors)

<input type="text" value="#e9e9e9"/>	背景色(Background)
<input type="text" value="#e9e9e9"/>	ボーダー(Border)
<input type="text" value="#333"/>	色(Color)

アクティブなタブの色(Active tab colors)

<input type="text" value="#333"/>	背景色(Background)
<input type="text" value="#333"/>	ボーダー(Border)
<input type="text" value="#fff"/>	色(Color)

タブ(tab)内記載内容の色

<input type="text" value="#f9f9f9"/>	背景色(Background)
<input type="text" value="#333"/>	ボーダー(Border)
<input type="text" value="#555"/>	色(Color)

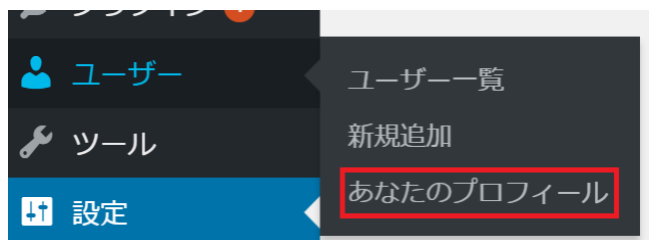
絶対に設定しなければいけないことはありませんが、画面上部の「投稿画面で表示する」「固定ページで表示する」は「下部」にしておいた方が無難です。

上部を含む設定にするとページをスマホで見た時にかなりうっとうしい感じになるので、下部限定にしておくことをおすすめします。

あとタブの色ですが、これは自分の好きな色に設定してください。

特にこの色が良いですとかはないです。

では、次に細かいプロフィール設定を行きましょう。



ユーザー⇒あなたのプロフィールをクリックすると以下の様な画面が出てきます。



この画面では名前やプロフィール設定、SNS アカウントの設定などができるので任意の項目に情報を記入してもらえればと思います。

ただし、画像を設定する場合は別途「WP User Avatar」というプラグインが必要になります。

プロフィール写真の項目の近くに「Gravatar でプロフィール画像を変更できます」と書いてありますがプラグインの方が簡単なので、プラグインでの設定をおすすめします。

プロフィール写真



[Gravatar](#) でプロフィール画像を変更できます。

「WP User Avatar」は検索からインストールできますので、他のプラグインと同様に有効化までしてください。

インストールすると以下の「Avatar」の項目が追加されますので「画像の選択」から自分が設定したいプロフィール画像を選択してください。



選択が終わったら、「プロフィールを更新」を押して画像の設定は完了です。

※注意

Table of contents plus を使用している場合、Fancier Author box を使うと不具合が生じます。

なので、同時に使う場合は下記の手順で不具合対策を行ってください。

まずはプラグイン一覧から「Fancier Author Box」の編集をクリックしてください。



右上のプラグインが「Fancier Author Box」になっていることを確認したら、画面右にある「プラグインファイル」の「ts-fab-construct-tabs.php」を選択してください。



すると、こんな画面が出てきます。

```
<?php
/**
 * Prepares Fancier Author Box tabs for display
 *
 * @link https://wordpress.org/plugins/fancier-author-box/
 * @since 1.0
 *
 * @package Fancier_Author_Box
 * @subpackage Fancier_Author_Box/includes
 */

/**
 * Constructs bio tab.
 *
 * @since 1.0
 *
 * @param string $context Above or below posts.
 * @param integer $authorid User ID.
 * @return string Bio tab HTML.
 */
function ts_fab_show_bio( $context = '', $authorid = '' ) {
    if ( $authorid == '' ) {
        global $authordata;
        $author = $authordata;
    }
}
```

今から、この赤枠で囲った部分を編集していくのですが、注意点としてここから説明する部分以外は**絶対に編集しないでください**。

最悪、バグが発生してプラグインがまともに機能しなくなる可能性があります。

決して難しいことをするわけではないので、説明したところだけを編集してくださいね。

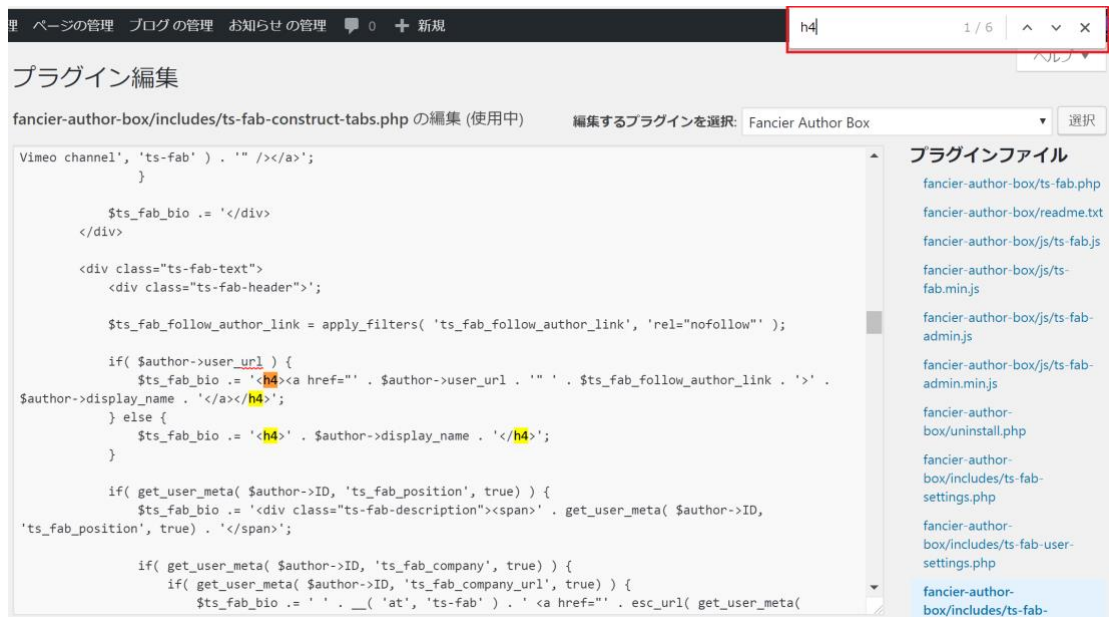
では、何をするのかというと「h4 を span に変更」します。

なんのこっちゃと思うかもしれませんが、やること自体は簡単です。

検索で「h4」を見つけて、「span」に書き換えるだけです。

検索の方法としては、windows であれば「ctrl+F」、Mac であれば「command+F」で下記画像の右上に出ている様な検索窓が出てきますので、

そこに「h4」と打ち込めば、画面のように「h4」がピックアップされます。



そして、この出てきた「h4」を全て「span」に変えてください。

最後に一番下にある「ファイルを更新」を押せば編集は完了です。

もう1度言いますが、絶対に「h4」以外のところはいじらないでください
ね^^;